

2017年5月1日
 現勢2,851名
 前月比-17名
 2847名(1/1付)

小平東村山

発行所
 東京土建一般労働組合
 小平東村山支部
 小平市仲町381番地
 電話 042-342-2846
 FAX 042-342-2848
 発行人 川口 直明



宮本さん

【柳瀬・防災設備
 宮本 浩行 分会長】
 柳瀬分会では、3年ほ
 ど前から40S（フォー
 ティーズ）という、
 若手中心の飲み会を
 行っています。役員

わっています。
 始めたころは役員を中
 心に数人程度の参加でし
 たが、仲間づくり運動の
 大会の分会発言より

若い役員体制で 試行錯誤の末に

以外の仲間とは分会の会
 議等を通して顔を合わせ
 る機会がなかなか無いの
 で、毎月の開催にこだ
 らで増えました。
 参加してくれた仲間
 から群長や分会総会の
 議長を引き受けてくれ
 る仲間も出てきていま
 す。協力してくれた仲間
 に感謝しつつ、今後も続
 けていきます。

運動の前進に光差す

～第1回支部定期大会を開催～



第一回となる定期大会を東村山市民センターで開催、代議員・来賓など125名が参加した

支部要求に小平 市長も前向きな発言

4月9日東村山市民
 センターにて、小平東村
 山支部第一回定期大会を
 開催しました。支部合併
 により、小平東村山支部
 を結成してからおよそ1
 年、初めての定期大会と
 なりました。
 大会には代議員・特別
 代議員合わせて98名に加
 え、本部や多摩北プロッ
 ク各支部、共闘団体や各



小林小平市長

級議員など26名の来賓の
 方々も参加しました。
 大会当日の市長選挙で
 再選を果たした小林正則
 小平市長は選挙当日にも
 かかわらず駆けつけ、あ
 いさつの中で選挙前に支
 部と結んだ政策協定にも
 ある「公契約条例」「住
 宅リフォーム助成」を前
 向きに進めていく考えを
 述べられました。

新役員紹介 (抜粋)

定期大会で承認された新支部の役員を紹介
 します。なお、執行委員については、各
 分会の分会長・書記長があたります。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 執行委員長
井上 清一 (小川) | 常任執行委員
谷口 庄一 (花小金井) |
| 副執行委員長
山内 勝男 (一ツ橋) | 川口 直明 (一ツ橋) |
| 新井 信道 (柳瀬) | 染矢 憲広 (上宿) |
| 飛田 重夫 (柳瀬) | 小平 隆男 (小川) |
| 関田 眞 (南) | 内藤 俊幸 (野火止) |
| 書記長
石塚 一広 (美園) | 菊地 智彦 (野火止) |
| 書記次長
山下 正徳 (書記局) | 三輪 剛 (南) |
| 高倉 一步 (書記局) | 常任執行委員待遇
川島 謙 (小平東) |
| 増田 邦彦 (書記局) | 「主婦の会会長」
佐々木 美代子 (一ツ橋) |
- ※敬称略

原発のない平和な未来を

4月23日午後「第12回さよなら原発！東村山
 ウォーク」が東村山市内で開催されました。
 好天に恵まれた中で、思い思いのプラカードや
 メッセージを持ち
 寄ったおよそ100
 名（支部33名）が
 参加しました。
 栄町2丁目の公園
 に集合し集会を行っ
 た後に、東村山駅近
 くまで行進をして、
 解散となりました。



東村山市内を行進

春の仲間づくり月
 間が今月末まで取
 り組まれていま
 す。前半戦を経過
 したところで、事
 業所の多い分会が社会保
 険未加入問題と労災加入
 で好スタートを切ったよ
 うです。事業所が少ない
 分会が拡大で苦労するこ
 とは毎度のことではあり
 ます▼今から思えば、パ
 ブル景気前は拡大行動な
 どしなくても組合員が増
 えたものでした。そのこ
 ろは、バブル崩壊や、銀
 行や証券会社の破たん、
 土地の価格が下がるなん
 て予想できませんでした
 ▼その時々々の社会情勢
 が、各分野で行政や生活
 に変化をもたらします。
 景気悪化と共に建設労働
 者の社会的地位も下が
 り始め、賃金・労働条件は
 それ以来、一向に改善さ
 れないでいるのが実情で
 す▼最近、若者の「○○離
 れ」が話題になってい
 る。「車離れ、活字離
 れ、恋愛離れ等々」い
 ろいろありますが、要は
 今の社会情勢では将来の
 展望が開けず、何をやり
 たくてもできない状況で
 す。消費が増えなければ
 経済の発展もありませ
 ん。人口は減り続け、社
 会保障や年金問題も今の
 若者が支えるには荷が重
 すぎる。20年後はどうな
 るのでしょうか。(允)



私たちの仲間を紹介します⑫



佐々木さん

【主婦の会・建設事務 佐々木 美代子 会長】
 私たち主婦の会は現在六八五名(二〇一七年四月一日時点)の会員のみなさんとともに「明るく、楽しく、元気よく、そして美しい主婦の会」をモットーに、日々活動しています。

主婦の会では諸要求運動の他に、食事交流会の開催や、親子でクリスマスツリー・リース作りを行い、交流を深めています。その他にも各分会主婦の会で独自のイベントを開催する

明るく元気に美しく活動

今年度、全会員向け・後継者向けのイベントや交流会を数多く行い、交流の輪を広げていきたいと考えていますので、多く指していきましょ！

く、楽しく、元気よく、そして美しい主婦の会」をモットーに、日々活動しています。また、女性の諸要求に基づいて運動・活動に取り組んでいますので、何か主婦の会への要望等がありましたら、気兼ねなく主婦の会役員にご相談ください。

この春は組合の仲間づくり月間と並行して、私たちも会員さんの参加をお待ちしています。



若手会員向け工作教室



昨年10月の交流会

春の仲間づくりスタート

～労災・雇用・社保等の相談相次ぐ～



月間の成功に向け意思統一を行った

4月20日夜、東村山市民センターにて「春の仲間づくり出陣式兼分会四役学習会」が開催され80名が参加しました。分会四役学習として行われた本部の北川書記次長の講演では、組織拡大の取

組みを中心とした組織強化や各分野の重点課題について触れながら、運動の意義について丁寧な説明がありました。続いて、山内支部組織部長から春の仲間づくり月間方針の提案が行われました。春の月間は一四名を目標にした取り組みとなりますが、組織を増やすだけでなく、分会後継者探しや交流を通しての組織強化も大きな目標ともなっています。

国土交通省を中心に進められている、社会保険未加入対策の期限を迎え、支部事務所には雇用保険や厚生年金の新規適用、一人親方労災の相談や加入を求める方々が多数訪れています。

国を中心に、業界団体も巻き込んで進められている社会保険(年金・健保・雇用保険など)未加入対策により「加入しない」と現場に入れないという声も多く聞かれています。また「一人親方なのに厚生年金に入れと言われた」「事業主だが雇用保険に入れと言われ

た」など、上位企業から間違った指導を受けて相談に訪れる方も多く、現場も混乱しています。事業主の方々も費用負担や手続き方法などで不安な状況に置かれ、社員の外注化を選択せざるを得ない例も出てきています。国土省は今年3月末を期限として対策が進めてきましたが、二〇一六年末時点での大手ゼネコンの現場での労働者の加入率は50%前後となっており、今後も引き続き対策が進められていく予定です。社会保険などの加入や相談は組合でも力になれる場合もあるので、困った時はお気軽にお問い合わせください。

社会保険の要求強まる

建設業界一丸 社会保険加入!



国土交通省作成のポスター

- 5月28日(日) (㊞切:5月16日) 会場:みその診療所
- 6月18日(日) (㊞切:6月6日) 会場:北多摩生協診療所
- 6月18日(日) (㊞切:6月6日) 会場:みその診療所
- 7月9日(日) (㊞切:6月27日) 会場:みその診療所

春の集団健診を左記の日程で開催します。お申し込みは群会議などで配布されるチラシに必要事項をご記入の上、FAX:〇四二一三四二 二八四八 までお願いします。

日曜健診のお知らせ

事業所	働き方	常用労働者数	雇用保険	健康保険	年金保険
法人	事業主 役員等	—	—	・協会けんぽ ・建設国保等	厚生年金
	労働者	1人以上	要加入	・協会けんぽ ・建設国保等	厚生年金
個人事業 一人親方	事業主	—	—	公営/建設国保	国民年金
	労働者	1~4人 5人以上	要加入 要加入	公営/建設国保 ・協会けんぽ ・建設国保等	国民年金 厚生年金

※協会けんぽに代えて建設国保へ新規・継続加入する場合は各国保組合の承認が必要です。詳細は各国保組合までご確認ください。